

高橋こうすけ 略歴

- 昭和40年8月28日、高田で生まれ育つ。現在58歳。生家は明治創業の豆腐や油揚げ、味噌等を製造販売する高橋食品。小学校1年生から剣道を始め、高校・大学では剣道部主将。
- 大町小学校、城北中学校、県立高田高校を経て、地元上越教育大学卒業。
- 昭和63年、長岡市立新町小学校に採用、旧松代町立蒲生小学校寺田分校、旧松代町立孟地小学校、三和区上杉小学校で教職を務める。
- 平成10年、家業を継承するため退職、高橋食品店主となる。
- 上越市認定地産地消推進の店。新潟県豆腐組合副組合長、上越豆腐商組合副理事長。
- 元上越市高田区地域協議会委員(平成28年~平成31年)。
- ●令和2年上越市議会議員選挙において初当選(現在1期目)、会派みらい所属
- ●令和2~3年、農政建設常任委員会・広報広聴委員会所属
- ●令和4~5年、文教経済常任委員会副委員長を拝命
- ●広報広聴委員会企画部会リーダー
- 防災士
- 武道経験 剣道、空手道



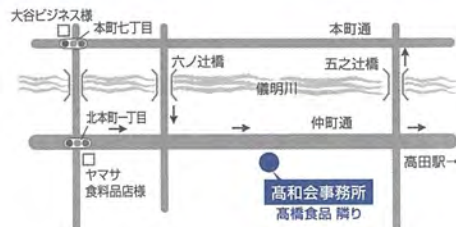
教員時代のひとコマ



高和会事務所

〒943-0831
上越市仲町 6-2-22

TEL&FAX
025-523-2802



討議資料



高橋こうすけ

ふるさとの宝を 活かす!!

ごあいさつ

「ふるさとの宝を活かす!!」は、私が初めての立候補の際に掲げたスローガンであります。

現在の日本において、高齢化や少子化による人口減少が急速に進んでいることは皆様ご承知の通りです。その影響は地方において顕著で、どこの自治体も例外なくその対策に追われています。しかしながら、そうした状況下にあっても、私はふるさと上越に大いなる「希望」を感じています。それは、たくさんの「宝」に恵まれているからです。

海あり山あり、四季折々の美しい自然。豊かな実りを生み出す頸城の大地。「首都圏から一番近い日本海」の地の利に恵まれ古来より交通の要衝として機能し、交通インフラも充実。エネルギー港湾直江津港は世界に開き、その沖には新たなエネルギー源が眠っています。中小や大手の地元企業・進出企業が集積し、「製造業のまち」としての実力もあります。こうした宝に磨きをかけ、この地の持つ潜在力を最大限に発揮させることにより、人口減少に負けない豊かな上越市の実現は可能であると確信しています。また、眼前の課題への対応だけでなく、長期的な視点も持ちたいと思います。

では、ふるさとの宝に磨きをかけるのは誰でしょうか？ 誰でもない、この地に住むみなさまお一人お一人です。何より誇るべき「宝」は、この地の自然と歴史に育まれてきた「人」であると私は思っています。

多くの先人たちが築き上げて下さったふるさと上越に、みなさまと共に力を合わせ、さらに磨きをかけ、次の世代に引き継ぐお手伝いがしたい。その志は当初と変わらず、むしろ強くなりました。皆様から与えて頂いた仕事にとってもやりがいを感じております。微力ではありますが、誠心誠意務めてまいります。

引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。

■議会活動



前期2年間は農政建設常任委員会、後期2年間は文教経済常任委員会に所属し、議案審査にあたりました。後期は副委員長を拝命し委員長の補佐役を務めています。広報広聴委員会では企画部会のリーダーを拝命し、議会報告会・意見交換会の改善を推進しました。年4回与えられる一般質問も休むことなく続けました。貴重な機会をより良い上越のためにかかします。議会活動は議員の本分。今後も学びを深めます。

■市民の声を直接行政に届ける



長引くコロナ禍で苦しむ事業者の方々の声を、直接市長に伝えるお手伝いをさせていただきました。地元事業者の方々は地域経済の要(かなめ)です。コロナ禍は落ち着きを見せ、社会経済活動は前向きに動き出しましたが、今後も伴走を続けます。

■障害者福祉の領域で

「障害のある方とご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように」。議席を預かりして以来、継続して取り組んでまいりました。一般質問の内容が、障害のある方とご家族の暮らしを地域全体で支える「地域生活支援拠点」の強化事業の創設につながりました。また、強度行動障害の状態にある方とご家族が、将来に安心ができるよう、関係者や関係機関と協力しながら引き続き取り組んでまいります。

■市政報告会・意見交換会(皆様の声を市政にかかします)



地域におじゃまし、市政報告会・意見交換会を開催しています。みなさまとひざを交えての意見交換は、私にとって大きな学びです。また、そこで話題となった地域課題の解決に向けても、伴走しながら共に取り組んでいます。

前回選挙の際に、みなさまに『4つのお約束』をしました。1期目は、そのお約束に基づいて活動をしてまいりました。さらに内容を見直し、今後もそれに基づいて、継続して取り組んでまいります。「プラス1」にもご注目ください。

みなさまとのお約束

お約束プラス1 上杉謙信公の節目の年まであと6年。千載一遇のチャンスを活かします!

令和10年(2028年)には上杉謙信公没後450年、そして令和12年(2030年)には生誕500年の節目の年を迎えます。謙信公の聖地・上越市が大きく飛躍する千載一遇のチャンスです。これまでも議会において一般質問や提言をしてまいりましたが、節目の年がより充実したものになるよう、様々な領域に広がっていくよう、関係する人や団体と連携しながら更に力を入れていきます。



地元を愛し、人を敬い、上越の未来を思い描く!!

1 地域経済の活性化に尽力します

地域の今と将来を支えるのはしっかりとした財政基盤です。それには産業振興と地域経済の活性化がこれまで以上に必要です。地の利はもちろん、充実した交通網や産業集積等、上越の「持ち味」や「強み」を活かしてゆけるよう取り組みます。また、上越の基幹産業である農業や地産地消の推進にも取り組みます。

2 福祉・教育の充実を推進します

「必要としている人に」「必要としている形で」「しっかりと届く」福祉を追求します。そして、障害のある方々とそのご家族が将来の心配なく、住み慣れた上越で安心して暮らせるよう努めます。地域づくりは「人づくり」から。学校教育をはじめ、今と未来を担う人材育成が充実するよう努めます。

3 歴史・伝統を活かしたまちづくりを推進します

地域の持つ「歴史と伝統」そして「文化」は、他所には真似のできない唯一無二のものです。上杉謙信公の「義の心」、雁木にみる「互助の心」等々、地域に伝わる有形無形の宝を人材育成のみならず、まちづくりや交流人口の拡大等にも活かすよう努めます。

4 安全で、安心して住み続けられる地域づくりに努めます

防災・減災や雪対策をはじめ、地域社会を支えるインフラ整備や必要な医療が受けられる体制づくり等、安全で安心して住み続けられる地域づくりを目指します。人口減少社会の中で、持続可能な地域づくりを中長期的な視点を持って考えます。

火力発電所視察



議会出前授業



中山間地域での意見交換会

